

「きたぐち音楽会 in かいぶらり」 バロック音楽のひととき

バッハ親子の音楽を中心に大バッハと同時代の音楽をお届けします。

バロックとはそもそも宝石用語のスペイン語 barroco (ゆがんだ真珠) に由来すると言われています。

バロック音楽は決して堅苦しい音楽でなく、譜面に書かれていない音をアドリブでつけたり、テンポや拍子をゆがませて演奏することをためらわない、そんな型破りが許される (むしろそれを楽しむ) 音楽です。

プログラム

J. D. ハイニッヘン Johann David Heinichen (1683-1729)
ソナタ ト長調

J. S. バッハ Johan Sebastian Bach (1685-1750)
音楽の捧げものより トリオソナタ 八短調

C. P. E. バッハ Carl Philipp Emanuel Bach (1714-1788)
トリオソナタ イ短調

ほか

日時：2018年11月16日(金) 18:00開場 18:30開演 入場無料

場所：山梨県立図書館2階多目的ホール

演奏：バロックアンサンブル

楽泉

フラウト・トラヴェルソ

岡村孝子

バロックヴァイオリン

小淵晶男

ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロックチェロ

三澤栄一

チェンバロ

西岡誠一

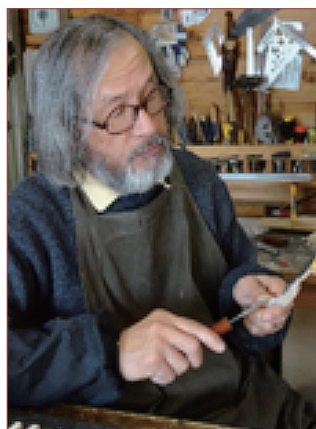


バロックアンサンブル 楽泉



フラウト・トラヴェルソ
岡村孝子

甲府市在住。山形大学卒業。モダンフルートを宮本明恭、故齊藤賀雄、フラウト・トラヴェルソを前田りり子、リコーダーを花岡和生の各氏に師事。フラウト、トラヴェルソ、リコーダーともに、ソロ、室内楽等で演奏活動をしている。釈迦堂遺跡博物館で毎年ロビーコンサートを開催している。リコーダーアンサンブルグループ「TOYBOX」のメンバー。自宅教室、ヤマハPMS講師。生涯学習としてのフルート、リコーダー、オカリナのアンサンブルグループを指導している。



バロックヴァイオリン
小淵晶男

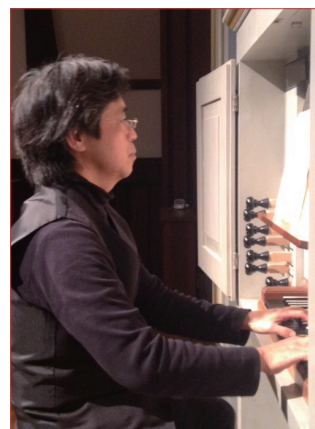
富士見町在住。7歳の頃よりヴァイオリンを始める。オーケストラ、室内楽、バロックの合奏を経て1984年よりバロックヴァイオリンに転向、渡邊慶子に師事。クラヴィコードを中心にチェンバロ、ヴァージナル等16,17,18世紀ヨーロッパ鍵盤楽器の復元製作を行っている。バロック時代の打弦楽器サルテリオやレオナルド・ダ・ヴィンチの手稿がオリジナルとされる擦弦鍵盤楽器ヴィオラ・オルガニスタの研究、製作も手掛けその成果はスペイン、イタリア、メキシコ他各地で発表され、新聞、ラジオ、TV等でも紹介されている。

American Musical Instruments Society 会員。
<http://obuchi.music.coocan.jp>



ヴィオラ・ダ・ガンバ、バロックチェロ
三澤栄一

1971年国立音楽大学作曲科卒。作曲コンクール受賞他、オーケストラ、室内楽の指揮及びかいじ国体、甲府市制百周年記念交響詩等委嘱作品の作曲など、音楽活動しながらジュエリーデザイン、伝統的彫金技術やアール・ヌーボーの美術工芸の研究を基に独自の技法と表現で、個展を中心に作品を発表。自然の美しさに恵まれた八ヶ岳南麓の大泉町に定住し、庭造りや音楽活動(バロック音楽の研究やヴィオラ・ダ・ガンバ、バロックチェロの演奏、コンサートの企画、e.t.c)を楽しみながら、家族と共に創作に励んでいます。



チェンバロ
西岡誠一

15才より教会オルガニストを務める。武蔵野音楽大学オルガン科卒。オルガンを園部順夫、月岡正暁、志村拓生、A・ウェーバー、ジッケの各氏に師事。草薙オルガン、ザニン社(伊)、ターン社(スイス)、ミューライゼン社(仏)等でのオルガン製作、イタリアやオーストリアの歴史的オルガンの修復等々、100台を超えるオルガンの製作・設置・修復・保守に携わってきた。現在、八ヶ岳と八王子の工房を拠点に、パイプオルガンの設置及び保守等を行っている。八王子キリスト教会オルガニスト。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員

きたぐち音楽会 in かいぶらり “バロック音楽のひととき”

11月16日(金) 18:00開場 18:30開演 入場無料

場所：山梨県立図書館2階多目的ホール
主催：NPO法人甲府駅北口まちづくり委員会
共催：山梨県立図書館
お問い合わせ：055-252-8797